

山手線沿線私大図書館コンソーシアム

本学が加盟 相互利用可能に

9大学24館 学生・教職員対象

本学図書館は今年度、山手線沿線の大学でつくる山手線沿線私大図書館コンソーシアムに加盟した。学部学生や大学院生、専任教職員は加盟大学の図書館を利用できる。

コンソーシアムは2000年に青山学院、学習院、國學院、東洋、法政、明治、明治学院、立教の8大学で発足した。利用者へのサービス向上の精神にのっとり、加盟図書館の間の協力を促進することを目的としている。

加盟図書館の所蔵情報の横断検索、各図書館への入館利用、図書の出出などで協力を行う。貸出

冊数や予約については、各大学図書館が定める条件に従うことになる。入館・貸出には学生証、教職員証などの身分証が必要となる。

本学図書館は「教育・研究環境の急激な変化に対応し、利用者へのサービス向上を図るには、一大学図書館のみでは難しい。山手線沿線の私立大学図書館が相互協力する

加盟図書館
青山学院大学図書館 (本館・万代記念)
学習院大学図書館 (大学図書館・法経図書センター)
國學院大學図書館 (渋谷・たまプラーザ)
専修大学図書館 (神田分館・Knowledge Base・本館・生田分館)
東洋大学図書館 (白山・赤羽台・川越・板倉)
法政大学図書館 (市ヶ谷・多摩・小金井)
明治大学図書館 (中央・和泉・生田)
明治学院大学図書館 (白金・横浜)
立教大学図書館 (池袋・新座)

ことで利用者のサービス向上を図りたい。各大学にはそれぞれ特色のある資料が所蔵されているので、研究・学修に役立ててほしい」としている。

相互利用については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から現在停止しているが、感染状況が落ち着き次第順次再開する予定。再開については、決まり次第図書館ホームページでお知らせする。

Beyond Borders 秋の企画展 渋谷敦志写真展

世界各地で「境界を生きる人々を記録し、分断を超える想像力を鍛えること」をテーマに撮影をしている写真家・渋谷敦志氏の写真と関連図書展示する。


【リアル展示】

- 神田キャンパス Knowledge Base
▽ 期日=10月22日(金)~11月12日(金)
- 生田キャンパス 図書館本館
▽ 期日=11月19日(金)~12月10日(金)

※時間、休館は図書館カレンダーに準ずる。 ※観覧は学内者に限定。

【オンライン展示】

- 10月22日(金) 9:00 ~ 12月25日(土) 12:00



司法試験 10人が難関突破

2021年の司法試験結果が9月7日、法務省から発表され、専修大学から10人が合格した。このうち4人が今春の修了者だった。

合格者は次の皆さん。
(カッコ内は法科大学院修了年)

- ▽大竹綾佳さん(平31)
- ▽今井早紀さん(平31)
- ▽川村翔吾さん(令2)
- ▽鈴木千鶴さん(令3)
- ▽加藤隆さん(令3)
- ▽伊崎千洋さん(令3)
- ▽小川童生さん(令3)

- 都合によりお写真は掲載致しません
- 都合によりお写真は掲載致しません
- 都合によりお写真は掲載致しません
- 都合によりお写真は掲載致しません
- 都合によりお写真は掲載致しません
- 都合によりお写真は掲載致しません
- 都合によりお写真は掲載致しません
- 都合によりお写真は掲載致しません
- 都合によりお写真は掲載致しません
- 都合によりお写真は掲載致しません

思考力鍛えられたゼミ

鈴木千鶴さん

本学法学部卒業後、法科大学院で学び、司法試験に合格した鈴木千鶴さんに話を聞いた。

福島県郡山市で中学の卒業式の当日、東日本大地震が発生日本に生じた。身近で大きな被害を受けた。学部時代は日高義博教授(現・名誉教授)の刑法のゼミに所属。自分の考えにはなかった点について、日高先生が事例を挙げて指摘されることが多々あり、思考力が鍛えられました。

学部、法科大学院を通じて、授業とエクステンションセンター主催の講座で勉強しました。友人と教え合ったり、先生に質問したりすることで、基礎を固め、知識を深めていきました。学部時代から培った人とのつながりで苦しいことも乗り越えることができました。

司法試験合格により将来の可能性がぐんと広がった気がします。人のために役に立つ弁護士になりたい。高校生のときに抱いた夢の実現に向けて、これからもしっかり学んでいきます。

日本植生史学会論文賞を受賞

文・高岡教授と荻谷教授


文学部環境地理学科の高岡貞夫教授と荻谷愛彦教授が共同執筆した論文が、日本植生史学会の第20回論文賞を受賞した。最終水期以降の植生形成史を視野に入れ、特に過去数百年間における山地の地形発達史と植生形成史との関係を地形学、地質学、植生学、年輪学を駆使して明らかにした。

高岡教授の専門は植生地理学、荻谷教授の専門は地形学。

10月30日に授賞式が行われる予定。

Instagramを利用したバーチャルツアーで 国際交流会館を案内した

報告・専修大学国際交流



専修人の新しい本

ジュニア選手のための夢をかなえる「スポーツノート」活用術

佐藤雅幸 監修

勝敗がつきもののスポーツですが、負けは決して悪いことではありません。また、勝てばすべては、というところでもありません。

大切なのは事実をきちんと受け止めて次に向か

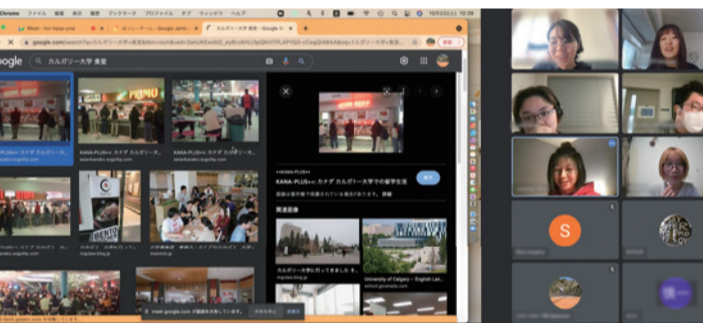
ってチャレンジすること。そこで生まれる感情を含めて論理立てて捉えれば、すべてが成長の糧になります。その手助けになるのが「書く」という作業です。自分の思いや取り組みをノートに書くことは、自分を客観視する能力が身につく、心の整理整頓につながります。

スポーツで成功を収めたアスリートや指導者は、さまざまな形で「スポーツノート」をつけています。

本書が、ジュニアアスリートのみならず、学生諸君のスポーツライフにも役に立てれば幸いです。(メイツ出版・税込み1892円)

監修者(さとう・まさゆき) 経済学部教授。スポーツ科学論、スポーツ心理学。

秋の海外留学・国際交流フェア



国際交流や留学プログラムについて理解を深めよう「第21回海外留学・国際交流フェア」が10月2日、オンラインで開催された。

本学の国際交流協定校であるカルガリー大学(カナダ)の学生とゲームやトークを楽しむ交流イベント、留学プログラムの経験者による体験談の報告、専修大学国際交流

図書館哀歌

緑地帯

秋になりました。月並みですが、スポーツ、芸術、食欲、読書、さまざまな秋があります。母の胎内に運動神経を忘れて生まれた私にとって、秋はもっぱら読書の秋です。

皆さんはあまりご存じないかもしれませんが、専修大学図書館は都内の大学でも有数の蔵書を誇り、年度ごとに設定される図書の購入予算は数億という額にのぼります(全額、使い切るわけではありません)。

私は、予算難に苦しみ、満足に図書も買えない地方国立大学から

会館バーチャルツアーなど盛りだくさんの内容で、国際交流や留学に関心を持つ学生延べ74人が参加した。

パネルディスカッションでは、夏期留学プログラム(オンライン)に参加した学生3人が、授業やテーマ学習、現地学生との交流について語った。オンライン留学のメリットとして「授業とアクティビティーの行き来に移動が不要なので、1日に多くのことを体験できる」点を挙げた。

「留学体験談&相談コーナー」では、長期交換留学プログラムを経験した学生が米国・サスケハナ大学での留学生生活を報告。その後、視聴者からの質問に答え、英語の勉強法や帰国後の就職活動などについてアドバイ